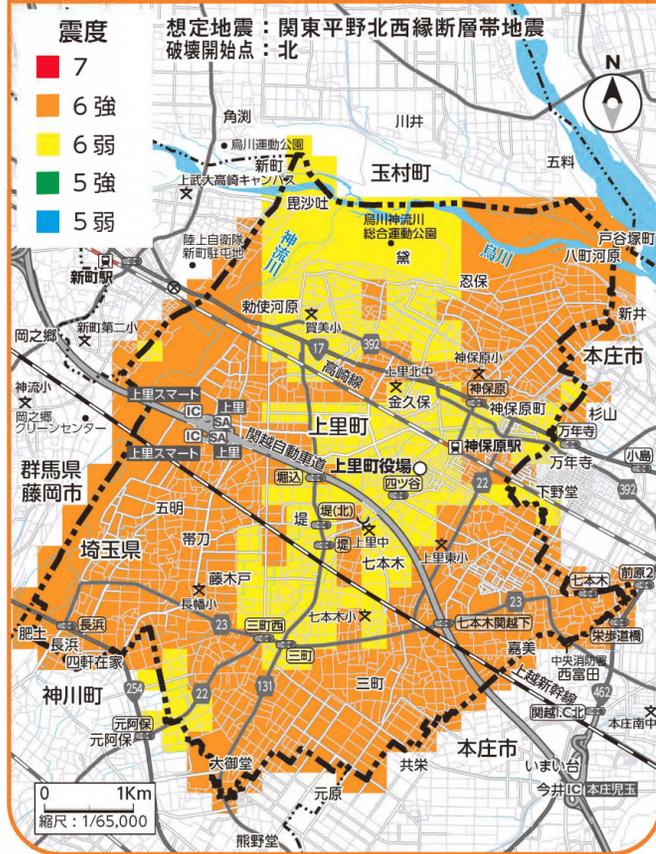
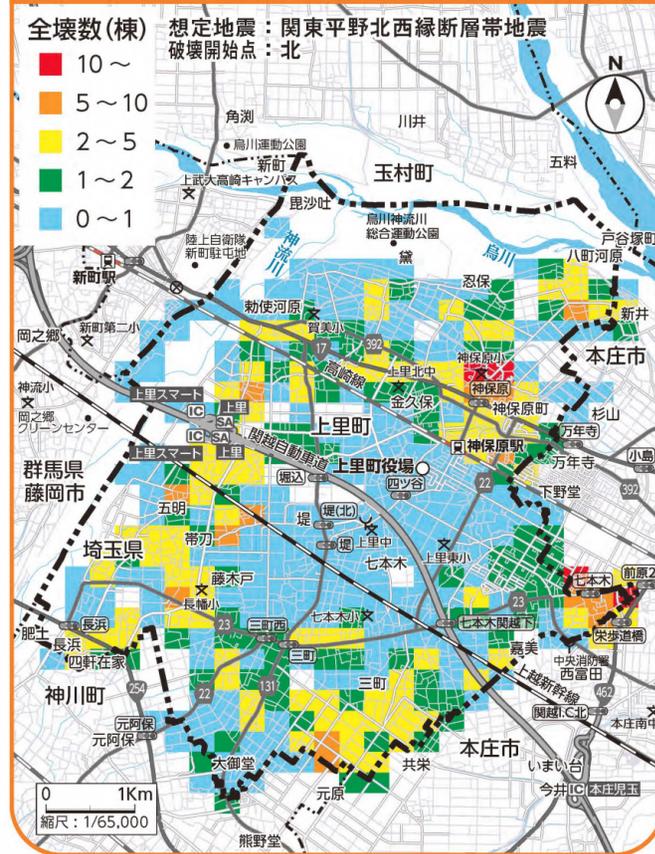


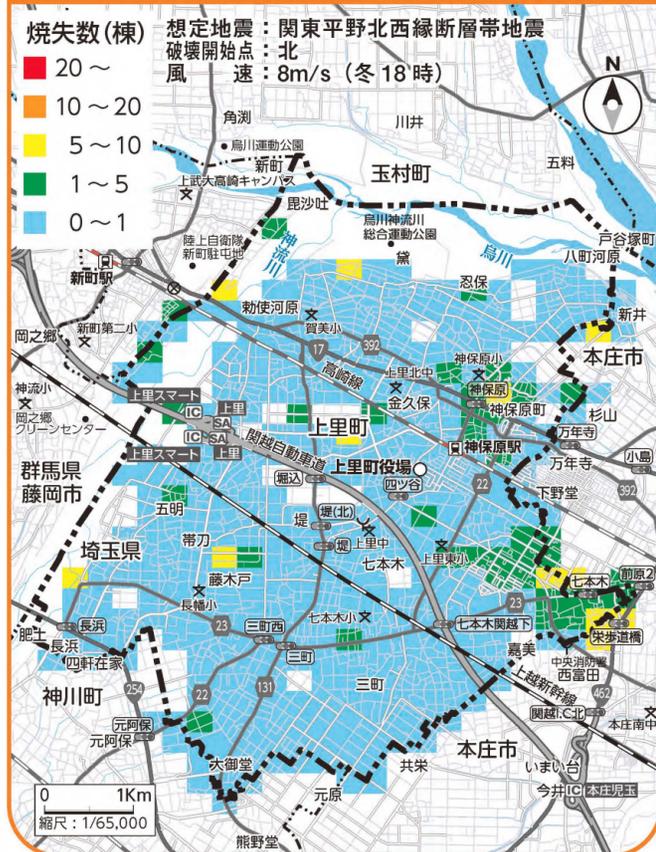
地震分布図



建物全壊棟数図



焼失棟数予測結果図



液状化可能性図



平成24・25年度埼玉県地震被害想定調査に基づき作成

火災対策

初期消火の3原則

1人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を知らせ、すみやかに119番通報を。初期消火で火を消せなかったら、すばやく避難しましょう。

1 早く知らせる

- 「火事だ」と大声を出し、隣近所に援助を求める。声が出なければやかんなどを叩き、異変を知らせる。
- 小さな火でも119番に通報する。当事者は消火に当たり、近くの人に通報を頼む。

2 早く消火する

- 出火から3分以内が消火できる限度。
- 水や消火器だけで消そうと思わず、座布団で火を叩く、毛布で覆うなど手近のもの活用する。

火元別初期消火のコツ

油なべ

あわてて水をかけるのは厳禁。消火器がなければ濡らした大きめのタオルやシーツを手前からかけ、空気を遮断して消火を。

浴室

浴室からの出火に気づいても、いきなり戸を開けるのは禁物。空気が室内に供給されて火勢が強まる危険がある。徐々に戸を開けて一気に消火を。

石油ストーブ

真上から一気に水をかけて消火(斜めにかけると石油が飛び散って危険)。石油が流れてひろがっていくのなら毛布などで覆い、その上から水をかけて消火を。

電気製品

いきなり水をかけると感電の危険が。まずコードコンセントから抜いて(できればブレーカーをおろす)消火を。

衣類

着衣に火がついたら転げまわって消すのも方法。髪の毛の場合なら衣類(化繊は避ける)やタオルなどを頭からかぶる。

カーテン・ふすま

カーテンやふすまなどの立ち上がり面に火が燃え広がったら、もう余裕はない。引きちぎり蹴り倒して火元を天井から遠ざけ、その上で消火を。



竜巻対策

発達した積乱雲からは、竜巻、ダウンバーストといった、激しい突風や雷をもたらす現象が発生します。竜巻は、積乱雲に伴う強い上昇気流により発生する激しい渦巻きで、多くの場合、漏斗(ろうと)状または柱状の雲を伴います。直径は数十~数百メートルで、数キロメートルに渡って移動し、被害地域は帯状になる特徴があります。

竜巻注意情報(気象庁)

<http://www.jma.go.jp/jp/tatsumaki/>



「竜巻」が間近に迫ったら…絶対に近づかない様に!!

屋内では

- 窓やカーテンを閉める。
- 窓から離れる。
- 丈夫な机やテーブルの下に入るなど、身を小さくして頭を守る。
- 家の1階の窓の少ない部屋に移動する。

屋外では

- 頑丈な構造物の物陰に入って、身を小さくする。
- 物置や車庫、プレハブの中には入らない。
- シャッターを閉める。
- 電柱や太い木には近づかない。

雷対策

「雷」から身を守るには…
遠くで音がしたらすでに危険な状態です!

雨雲の動き・雷活動度(気象庁)

<http://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>



- グラウンドやゴルフ場、海の上などの開けた場所や、山頂などの高いところは危険!
- 電柱、鉄塔、高い木などの高い物の近くは危険! 2m以上は離れ、近づかないように!
- 姿勢は低く、持ち物は体より高くしないように!
- 雷の活動が止み、20分以上経過してから安全な場所へ移動しましょう。



大雪対策

大雪が発生した場合、雪崩、除雪中の転落事故などの災害のほか、路面凍結などによる交通事故や歩行中の転倒事故などが発生するおそれがあります。雪に対する正しい知識を深めることが大切です。

除雪作業の注意点

- 雪かきスコップなどの除雪用具を用意しましょう。また、作業中は転倒や屋根雪の落下に注意しましょう。町は、所管する幹線道路を中心に、除雪作業を行います。
- 町民の皆さんは、**共助の精神に基づき自宅付近の除雪を行うなど通行の確保、孤立・閉じ込め状況の解消に協力してください。**ただし、除雪した雪は事故やケガの元になりますので、道路に出さないでください。

